



南山大学大学院法務研究科

「人間の尊厳のために」を实践する法曹養成

教育理念・目標、教育課程、施設、サポート体制の特色

1. 南山大学法科大学院の教育理念・目標

(1) 教育理念

人間性の回復と人間を中心に置いた思考が求められる現代社会の基本構造を支える存在としての、人間の尊厳に対する深い理解を備えた、豊かな人間性をもつ法曹の養成



(2) 教育目標

「人間の尊厳のために」を基本とした法曹に必要な基本的知識・能力を修得し、人権感覚をもつ社会に貢献できる法曹の養成のため、**少人数制の下、きめ細やかな教育**を行う。

2. 教育課程・内容の特色 ①

(1) 未修者教育の充実のために

1年次における、憲法、民法、刑法の講義科目重点的学習

2年次以降に、他の法律基本科目の講義科目、法律基本科目の演習科目を配置

憲法基礎研究・民法基礎研究・刑法基礎研究による基礎学力の定着

法的思考方法に基づく文書作成能力の涵養を図るための、**リーガルライティング**

アドバイザー制との連携による学習支援

1年生ゼミで勉強の仕方、答案の書き方、基本書の選び方などをアドバイス



2. 教育課程・内容の特色②

(2) 論文作成能力をのぼすために

- ① 「演習」以外に「事例研究」科目による実践的学習
- ② OB・OGのアドバイザーによるケーススタディ

(3) 「人間の尊厳科目群」 (生命と法)、(企業倫理と法)、(歴史の視点)、(哲学の視点)、 (犯罪被害者と法)

(4) 教育効果を高めるために

- ① 少人数教育による授業
- ② IT の活用による Self-LearningSystem の導入
WEB上の自学自習システム
「TKC 法科大学 院教育研究支援システム」と
法律基本科目の 連動 (授業理解度確認テスト)
- ③ 授業録画システム



3. 施設、サポート体制

(1) 充実した設備

- ① 一人ひとりに専用のキャレルとロッカー
- ② 法科大学院用教室、図書室、ラウンジ、模擬法廷

(2) サポート体制の特色

- ① 充実した給付奨学金制度
- ② 指導教員制およびアドバイザー制による学生サポート体制の充実
- ③ 入学予定者を対象とした、入学者対象導入教育、学習ガイダンスの実施



4. 南山大学法曹実務教育研究センター

模擬医師尋問、少年問題・医療過誤問題に関する講演会やセミナー、近時の法改正に関する研究会



法曹実務教育の研究と実践

+

法科大学院を修了した法曹に対する継続教育



最後に一言

南山大学法科大学院は教員と院生のコミュニケーションを大事にしています。

詳しいことをお知りになりたい方はWebページをご参照ください。

(<https://depts.nanzan-u.ac.jp/grad/ls/>)

また、わからない点は、ご遠慮なく南山大学法務研究科事務室までお問合せ下さい。